(明治三十九年九月八日第三種郵便物認可)

京城日報

十九日夕刊 (朝夕刊併せて八頁)

◎露國最後通牒
對羅國ー國交斷絕宣言か

過激派政府は露國兵士に對する羅馬尼の敵對行爲並に同國が食糧輸送を禁じたる事及び一露軍聯隊の委員と同聯隊を訪問中なりし墺太利將校とを捕縛せる件を摘發し羅馬尼政府に最後通牒を發し被捕縛者の放免及び關係官憲の處罰並に今後再び斯かる行爲を爲さずとの保障を要求し二十四時間以內に回答を得ざれば露國は國交斷絕を宣して軍事的非常手段を執るべしと通告せり(露都電報)

◎露法律廢止命令

過激派政府は諸法律廢止の命令を發せり(露都電報)

◎波斯撤兵の通告

九日倫敦に達したる露國無線電信に依れば過激派政府委員は露都駐在波斯公使に通告するに休戰協定に依り土耳古政府が波斯より撤兵を承認するに於ては直ちに同國より撤兵を實行すべきを以てせりと墺獨側とウクライナ政府代表者との會議は九日開始せられたりと(倫敦電報)

◎過激派政府を承認せず
英國外相の下院に於ける應答

英國外相バルフォア氏は下院に於て露國過激派政府に對する英國の態度に關する質問に答へて曰く「英國は事實上及び法律上に於て露都に於ける現在の露國政府を承認せず予は在英大使館附代理人を經非公式の方法を以て必要の事務を執りつゝあり而して予は猶同樣非公式關係を過激派政府任命の倫敦駐在露國代表者リトヴィノフ氏に於て爲しつゝあり斯くの如きは實に變則極まるものなれども現在の狀態に於て最も適當なる方法なり予は又在ヘルシングフォルト(芬蘭首都)領事に命じ其の地に於ける事實上の當局と關係を開始したり」(倫敦電報)

◎洪牙利內閣辭職

洪牙利內閣は辭職せり(倫敦電報)

◎軍艦入港と浦鹽市會
主權を侵害するものとして抗議す

十二日在浦鹽日本領事館より「日本政府は在留邦人保護の爲め軍艦を浦鹽に派遣す時宜に依ては猶數隻の軍艦を派遣する事ある可し」との發明ありたるに對し十四日浦鹽臨時市會より次の如き決議文を日本領事館及び各國領事館に送達せり(浦鹽電報)

浦鹽自治團は當地方官憲に對し豫報及び同意無くして日本軍艦の入港せるを不可なりと思惟す右は露西亞共和國中央官憲の解決に俟つ可きものなるが當市會は地方人民の代表者として日本が露西亞共和國の主權を侵害したるものとして抗議するの義務を有す

◎宗社黨擧兵準備

近時宗社黨は南北抗爭の虛に乘じ宿志を達せんとし各方面に潜在し時期の臻るを待ち擧兵の準備をなしつゝありと(北京電報)

◎北島博士通過

內務省保健衛生調査會委員醫學博士北島多一氏は支那山西省に發生せる肺ペスト豫防視察の爲め北京に赴く途次十九日朝來釜午前十時半發列車にて北行せり(釜山特電)

◎政務總監東上期

山縣政務總監は貴族院議員として其召集に應じ且つ政府委員として今期議會に列席の爲め來る二十三日正午德壽宮內石造殿に於ける李王世子殿下御催しの午餐會に列したる上同日夜遠藤秘書官を從へ南大門驛發東上の事に決定したる由

◎中樞院事務分掌
調査編纂の二課を設く

過般中樞院事務局長をして[illegible]を兼任せしめたる朝鮮總督府中樞院に於ては從來舊慣及び制度調査の外之と關聯して朝鮮半島史編纂其他種々歷史上の調査に從事し別に分課の規程も無く書記官小田幹次郎氏一人にて鞅掌し來りたるが今回事務分掌の必要を認め新に調査編纂の二課を設け調査課に於ては舊慣及び制度の調査並に他課に屬せざる事務を掌り同課長には小田書記官を以て之に任じ編纂課は朝鮮史料の蒐集編纂(半島史編纂を含む)に關する事務を掌り同課長には總督府事務局編纂課長小田省吾氏に囑託して其事務に當らしむることゝ成りたれば其々專門家の手に依りて向後一層事務の進捗を見るに至るべし

京城太平町通一丁目 發行所 京城日報社 電話(編輯用長三四五番 營業用長三二六番) 振替貯金口座京城三〇〇番

◎穀類運賃の引下
釜山より阪神へ 四汽船會社の協定

朝鮮郵船、大阪商船、尼ケ崎汽船、五光商會の四汽船會社は協定の上十九日より釜山阪神間穀類運賃を百石に付百三十圓に協定發表せしが之を協定前の運賃に比すれば朝鮮郵船は百石に付十四圓の低減となり大阪商船尼ケ崎並に五光商會は二十圓の低減となれり尙ほ釜山よりの運賃引下のみにて他の仁川群山元山木浦鎭南浦各港に及ばざれば自餘の各港は紛々値下の聲を發すべきに付素より近く其の均霑を見るべしと觀測せらる

▲引下事情

▲移出穀類の有利 右に付某有力者は曰く內鮮間穀類運賃は十二月十日朝鮮郵船會社が其の受命に係る元山浦鹽間航路を▲阪神に延長する事となり其の運賃を釜山より阪神まで百石百四十四圓に決定せし爲大阪商船尼ケ崎五光各社も對抗上從前百八十圓の運賃を百五十圓に引下げて今日に至つてゐるが此の運賃は鐵道運賃に比し二倍強に當り且つ緩和せし今日の傭船料船價を以て見るに若干高きに過ぐるなきやの觀なきにしもあらずであつた、これ今回の四社協定引下運賃を見た所以であらう、乃ち時運が▲船賃の低減を促したと見るのが至當であらう、又此の引下が仁川や群山や南浦や元山に均霑しないとあつては之等各港の商人は採算非常に不利となるから素より默つて居やう筈はなく汽船會社も亦釜山にのみ運賃引下を行ふて外の港を繼子視しやう筈はないから何れ各港の阪神行運賃も略同樣の低減をなすべく多分仁川木浦群山より百七十圓南浦が百九十圓位となりはせぬ乎、更に其の引下の鮮米及び大豆に及ぼす影響を見るに結局運賃の下つた丈け▲朝鮮穀物の內地移出は穀出しよくなつた譯だから當然いくらか穀價に氣配も有ち來るべく之れを何百萬石と云つて移出さるゝ朝鮮穀類より見れば其の利益は少ないものでない

◎官制不改
持地長官の談

遞信局官制改正の議當局の間にあるやう報ずるものあるが右に付持地遞信局長官は曰く現官制は今日其改正を行ふ必要を認めず又予として其の改正に何等考慮を加へ居らず改制說は全く事實無根にして遞訓に過ぎずと言明せり尙ほ局外の某氏は曰く遞信事業は逐年擴張膨脹しつゝあるに付現制度改正の必要何時到來せんも圖り難きが某紙の報ずる如く現監理課を總務課若くは前鐵道局總務課の如き權限を與ふる事は遞信事業の實際より見て果して適好の制度なるや疑はし又遞信課を業務課となすも反つて改惡の嫌ひなきか要するに稍永き將來は兎に角今日其の議なきは事實なるべし

◎高等試驗令に就て
大體に於て可ー部分的にも可なり
大久保辯護士談

高等試驗令なるもの十八日勅令を以て公布されたる由、該制度の內容として、貴紙東京特電の報ずる處に從へば、大體に於て予輩の意を得たるものなり、案ずるに、從來文官高等試驗、外交官試驗、辯護士試驗、判檢事登用試驗等各別の規程の下に執行し來たるを今回制定の高等試驗令に於て、一回の▲豫備試驗と、二回の本試驗中、最後に執行さるべき第二回目の本試驗に於て各別の專門試驗を行ふ外は、孰れも同一の試驗を施すことゝ成りたると、第一回第二回目の試驗に於ても、文官高等試驗即ち行政官試驗には文科出身者も受驗し得るやう規定されたりとあるは、近時何事にも常識を衡ふの思潮と合致せるものなるに似たり、蓋し從來各別に施行しつゝありたる文官諸試驗其他を或程度迄統一するは法令自體が常識的にして、殊に行政官の▲試驗資格を法律專修者以外にも及ぼせるは、國家行政に法律の知識を要すると同時に、國務なる常識の裁量の欠くべからざることを認識せる證左として、官界に於ける思想の進步を欣ばずんばあらず、次に無試驗にて司法官試補たり、辯護士たり得る帝國大學法科大學の卒業者の特權を廢止し私立大學と同等に過せらるべき規定は、久しく問題と成り居たる私立大學卒業者の主張を採納せりと見るべく、或は又、近年私立大學の▲向上顯著なると、當路者の試驗に依りて帝大出身必ずしも私學出身に比して卓越せるにあらざるを知り得たるが爲めのみにもあらざるべし、何れにもせよ人材登用の趣旨に適せる改正なり、更らに試驗科目の內容に就ては、今之を詳悉する能はざるも、語學を課するの一事は確かに時勢の要求に基くものなるべし、予は中央大學の前身たる英吉利法律學校を出でたる者なるが、當時我國の法制は未だ完備せざりしを以て專ら英書に就て教授を受けたり、然かも未熟なる語學にては充分に法理を▲學習する能はずして、寧ろ同校邦語科の刊行せる講義錄に依りて力を獲ひし程なるも、未熟なる語學が今日に至りて予に多大の便益を與ふるは、例へば訴訟用に關して英米人等と交涉する際通辯人の多くは法律の素養無きが常なるを以て專門語を譯し得ずして兎もすれば双方談話の要領を得難きことあり、其場合專門語には一通り耳熟れたる予の英語が大にものゝ役に立つ次第なり、語學試驗の如何なる程度に於て行はるべきやは知らざれども、縱し其▲程度甚だ高からずとも、予の經驗したる程の便益は、裁判官も辯護士も俱に之を享受すべきや勿論なり、這は余自身の便益にする處にして固より一些事に過ぎざるも、國際關係の繁多なる現代の高等試驗に語學を課するは、蓋し實際以上の必要もあるべし、說き來れば高等試驗令は大體に於て可なるのみならず、部分的にも要領を得たりと爲すべきか

◎上半貿易
合計七百六十三萬二千餘圓ー貨物數量の增加

本年一月上半に於ける朝鮮貿易は輸移出品價三百七十一萬二千五百七十八圓、輸移入三百九十二萬四千六百十六圓合計七百六十三萬二千六百二十四圓にして之を▲昨年同期の貿易額に比するに輸移出にて百卅四萬八千九百九十七圓輸移入二百七萬六千百卅四圓合計三百卅二萬五千百卅一圓即ち七割七分強の激增なるが右は輸入貨物數量の增加及び價格の昂騰に因ること勿論なりとす而して昨年同期貿易の六十一萬九千六百六十九圓の出超を示せるに反し今期に於て二十萬七千四百六十八圓の入超を見たるは寧ろ企業の殷盛及一般▲購買力の增進を示すべくして半島の爲めに慶すべしとせんか左に重要輸移出入品價額及び各港別貿易額を揭ぐ

▲重要輸移出品價(圓單位)

	本年一月上半	前年一月上半
米	[illegible]	[illegible]
大豆	[illegible]	[illegible]
魚	[illegible]	[illegible]
綿花	[illegible]	[illegible]
繭	[illegible]	[illegible]
金	[illegible]	[illegible]
鐵及鐵鑛	[illegible]	[illegible]
石炭	[illegible]	[illegible]
金銀鑛	[illegible]	[illegible]
牛皮	[illegible]	[illegible]

▲重要輸移入品價(同上)

	本年一月上半	前年一月上半
米	[illegible]	[illegible]
粟	[illegible]	[illegible]
小麥粉	[illegible]	[illegible]
食鹽	[illegible]	[illegible]
砂糖	[illegible]	[illegible]
石油	[illegible]	[illegible]
繰綿及打綿	[illegible]	[illegible]
綿絲	[illegible]	[illegible]
生金巾	[illegible]	[illegible]
晒金巾	[illegible]	[illegible]
日本木綿	[illegible]	[illegible]
紙	[illegible]	[illegible]
鉛	[illegible]	[illegible]
機械器具	[illegible]	[illegible]
燐寸	[illegible]	[illegible]
石炭	[illegible]	[illegible]
セメント	[illegible]	[illegible]
麻織物	[illegible]	[illegible]
毛織物	[illegible]	[illegible]
絹織物	[illegible]	[illegible]

▲各港別貿易額

	輸移出	輸移入
仁川	[illegible]	[illegible]
釜山	[illegible]	[illegible]
元山	[illegible]	[illegible]
鎭南浦	[illegible]	[illegible]
京城	[illegible]	[illegible]
群山	[illegible]	[illegible]
木浦	[illegible]	[illegible]
大邱	[illegible]	[illegible]
馬山及鎭海	[illegible]	[illegible]
城津	[illegible]	[illegible]
清津	[illegible]	[illegible]
新義州及龍岩浦	[illegible]	[illegible]
平壤	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]

◎東洋製鐵と戶畑町
北九州の工業的繁榮愈々加はらん

資本金三千萬圓を以て昨年成立せし東洋製鐵株式會社の敷地は久しく長崎大分伊萬里唐津並に福岡縣行橋香椎戶畑等各地より會社に對する誘致▲競爭激烈なりしが遂に旣報の如く十五日東京に於ける東鐵重役會議の結果敷地を福岡縣戶畑に決定し同時に久原家に於て計畫中なりし戶畑製鐵所と合同の上資本金を四千萬圓に增資する事となりしが場所は旣に久原家にて製鐵所敷地として戶畑に購入使用せる三十七萬坪並に目下同家にて埋立を出願中の百萬坪合計百三十餘萬坪を東鐵敷地たらしむる事となり居るに付製鐵所敷地としては狹少ならざるべし猶ほ水利權は小倉市に流入せる紫川の權利を獲得せるのみならず礦石石炭等の原料に就ても亦▲久原家の計畫に屬せるもの全部を舉げて同社に繼承する筈なれば東洋製鐵は單獨に事業を經營するよりも非常に有利なるべし更に東鐵當初の計畫によるに同製鐵所の鐵鑛石は支那安徽省桃沖鐵鑛の鑛石を主とし傍ら朝鮮其他の鐵鑛を採取する目論見なるが右桃沖鐵鑛より約年額二十五萬噸朝鮮其他より七萬噸の鑛石を採取し以て銑鐵十五萬噸を得べき豫定となりゐたるも久原と合同せる以上其の產鐵は從つて增加すべし更に一年百萬噸近くを使用すべき石炭は其の供給を受くる上に於て地利上より見るも問題に非ざるべきが唯▲勞力問題のみ若干危懼さるゝに似たり何となれば北九州は八幡製鐵所を初め各種の大工場頗る多く何れも常に勞働者の不足を感じつゝあればなり然し乍ら東鐵敷地が八幡製鐵所に近接し居る事は熟練職工の配給を受くる點等に於ては便宜多からんとの樂觀說もあり必ずしも前途を憂ふるに足らざるべきか尙ほ東鐵は旣に米國より百五十噸溶鑛爐を購入するの約成り技師技手等渡米中の由に付萬事決定せば來年三四月より操業を開始すべく其後漸を逐ふて▲十五萬噸產鐵の設備を整ふべしと因に東鐵敷地の決定とともに戶畑町の歡喜は非常のものなるが會社は三百の職員と五千の職工を使役すべき計畫なりとの事に付第二の八幡を戶畑に見る事は近き將來なるべく工業地としての北九州の發展は愈々刮目に値せん

◎漢城銀行增配
年八分の割

漢城銀行にては廿三日同行樓上に定時株主總會を開き大正六年下半期決算並に▲利益金分配案を附議する事に決定したるが右に付專務取締役韓相龍氏は曰く六年下半期に於ける漢城銀行の營業成績は半島一般財界の膨脹繁忙に伴ひ未曾有の好成績を現はし之れを期末の預金並に貸出の現計に見るに預金は三百六十萬圓貸出しは四百二十萬圓に達し之を前年同期に比すれば預金貸出共に各百二十萬圓の增進を告げたり殊に愉快なるは當行に對する內地人諸氏の取引增大せる事にして今其の割合を示せば預金に於て二割貸出に於て四割の率を示し居れり更に當期の利益金配當は純益の增嵩に伴ない從來年七分の割なりしも當期より更に一分を加へ年八分に增加する事となれり

▲釜山支店增設 尙ほ二十三日の總會には釜山支店新設案を臨時總會議案として提出すべく其の承認を經ば早急開店準備に着手し來る三月遲くも四月より營業開始の豫定なり蓋し釜山は朝鮮の關門にして吾が漢城銀行本支店所在地より見るもその關係は頗る密接のものあり殊に爲替は年額取組高一百萬圓を超過するの現狀に付釜山に一店を有せざるは幾干か缺足の感なきに非ず之れ今回其の缺陷を補ふ所以なり

◎爲替會議終了

朝鮮銀行外國爲替會議は過日來續行中の所十九日日程全部を終了したりと

◎美濃部總裁發期

朝鮮銀行總裁美濃部俊吉氏の滿洲各店巡回は來る二十二日午後九時四十分南大門發列車にて出發のことに略確定したりと

◎米總領事東上

京城駐在米國總領事ミラー氏は夫人令孃同伴十九日夜京城出發東上す

◎原田社長張宴

原田朝鮮郵船會社長は二十日午後六時より京城新聞通信雜誌代表者並に經濟記者を花月に招待し宴する由なるが會社よりは原田社長吉田專務松崎川田水江各課長等列席すべし

◎韓相龍氏催宴

漢城銀行專務韓相龍氏は十八日午後六時より花月に京城新聞通信雜誌の主なる代表者其他の記者を招待し宴を張りしが席上專務の挨拶、谷朝鮮新聞社長の謝辭あり主客歡を盡し午後十時過ぎ散會せり

◎青木氏辭官

總督府農商工部農務課囑青木作太郎氏は今回官を辭し朝鮮紡織株式會社に入社する事となれりと

東京より
支那南北調和問題
在京一記者

○近頃支那の智識階級に於て南北調和の前途遼遠にして、國民の苦痛甚大なるに鑑み、日本が[illegible]の誼を以て、最も公平無私なる立場より、南北に偏せず、南北代表者の會合及び其他の諸問題を解決せむが爲め國民代表會議を開くの提議を爲すべく希望しつゝありとの報あるは所謂空谷の跫音なりと雖も之を以て果して支那覺醒の兆候なりとすべきや否や。

○蓋し歐洲大戰、宇內變局は、支那民族統一の機會にして、支那民族が此の機會を逸せず、我が日本民族と共に提攜し、共同一致の態度に出で、南北調和、立國の大計を立つるは、今日の最大急務たるは論を俟たず。然るに、支那民族が南北相排し、朋黨相擠し、區々たる蝸牛角上に出頭沒頭して、大有爲の機會を閑却し、宇內の變局に應ずべき新立國の大計を忽諸に付するが如きは吾人が平生支那の爲に浩歎して措く能はざる所なりし也。苟も支那の識者にして、果して翻然自覺する所あり、南北調和して我が帝國の指導に賴り以て新立國の大計を樹つるに意あらむ乎、吾人は我帝國が滿腹の同情を傾けて、指導調和の勞を執るを辭せざるべきを信せずむばあらず。

○然れども南北調和の機運を作るは易く。南北調和の實を擧ぐるは難し。支那民族にして果して南北調和に意あらば南北代表者たるもの先づ誠意を披瀝して我政府の指導を乞ふの態度に出でざる可からず。我が帝國は支那の內政に干涉するを欲せずと雖も支那にして誠意を以て指導を乞ふの擧に出でむ乎我が帝國は善意的調停を辭せざるべし。左れど誠意なき調和に至りては吾人は斷然之を排せざる可からず。蓋し姑息的調和は一時の苟安を糊塗するに過ぎずして、却て東邦の平和に害あるも、益無ければ也。故に支那にして南北調和の希望ありて、假令ひ其の調停を我が帝國に乞ふとも、苟も誠意を以て帝國の指導に倚賴するに非ざれば、我が政府は姑く嚴正不偏、傍觀的態度を執るの外無けむ。知らず、支那は果して覺醒し、誠意を以て我が帝國の指導調停に倚賴せむとするの態度に出づるや否や

人事消息

▲朝倉外茂鐵氏(辯護士) 訴訟用にて下關及び小倉へ出張其後別府溫泉に入浴中の處十八日夜歸京

▲後藤瑞巖師(臨濟宗妙心寺派布教監督) 十九日朝南大門發釜山、大邱、井邑、裡里方面に巡錫

▲西鮮日報社長 十九日午前退京

▲本田水原模範場長 同上

▲榮安理作氏(京城憲兵分隊長) 十八日夜鏡南より歸任

▲保科子爵(總督府技師) 咸鏡南北道出張中の所十七日歸任

▲久芳直介氏(總督府人事課長) 十九日附を以て二十一日出の豫定にて東京へ出張を命ぜらる

新春新韻

勅題「海邊松」 李永根

海岸千年老。總成偃蓋松。枝棲丹頂鶴。影漾紫鱗龍。

評曰色彩燦然。

同上 茂泉 鴻堂

偃蹇海邊松。滄波攤影濃。蒼光連十里。高節傲三冬。瑞煙鶴。沙明蟠老龍。日出仰消容。

評曰洞天福地。瞭如指掌。

(南大門行) 十一月一日現行

□有り難き大御心
御製を拜して
御歌所寄人感涙にむせぶ

御歌所長入江爲守子の談に曰く、此の度の詠進歌は昨年に比し約七千種許り多かりしが選歌も成る可く

▽國民の赤誠 を上達せん心にて例年よりも多く七種を選抜せり其の順序は詠進者の身分に依りて並べたるものにて出來榮へに依りて順序を付けしものに非ず又寄人池邊義象氏の談に曰く一般ある詠進歌の内余の思はず落涙したるは東京盲學校の生徒が點字にて歌の言葉を認め更に假名文字の

▽飜譯を添へ て提出せし事にて一層の哀れを催したり全臨にて二萬三千七百八十七首の内朝鮮より二百十三首臺灣より百四十五首樺太より十四首其他海外より百五十五首の詠進ありたり、誠に畏き事ながら今年の御製を拜見するに非常に雄々しく勇壯なる御調子にて其の披誦を

▽拜聽せし時 には思はず感涙に咽びたり國民が時難に堪へて奮勵す可き旨の大御心を罩めさせたるものと拜察して感激に堪へず」(東京特電)

●捕はれた佛國前首相(一)
◇◆◇其の裡面に潜む重大事件◇◆◇
大獨探の悪むべき活躍◇◆◇

十九日本紙朝刊は紐育電報にて佛國前首相カイヨー氏の捕縛を傳へたり而してカイヨー氏は叛逆罪としてレサイエの監獄に投せられたるものの如し然るに此の事件は單に佛國の前首相として佛國有數の老政治家として大問題たるべしと雖も

×彼の捕縛は勿論 大問題たるべしと雖も此の裡面には頗る重大なる大事件の潜伏し居るは佛國の爲遺憾千萬の極なり而して今カイヨー氏を中心として本事件を起すに當り其に亦驚くべく悪むべき大獨探の奴の横行を記さざるべからず元來佛國にては奇聞的怪聞往々世界に傳へられて屢々世人を驚歎さする事稀ならず現には社會黨新聞ボンネー、ルージの記者アルムリエダが

×獨逸の金を懐に せし事發覺して自殺を遂げ近くは代議院議員にてアクチヨン、フランセーの持主たる文豪ドーデーの子たるオン、ドーデー氏が其の新聞に於て前內相マルヴィーを攻撃すると同時に議會に於ても亦前首相即ち今回捕縛されたるカイヨー氏に關し怪しき風說絶へず遂に議會は此の議員の資格を褫奪すべく決議し又彈に

×死刑となりたる 瓜哇生れの和蘭女優マタ、ハリの背後にも知名の政治家銀行家ありと傳へられ居れりマタ、ハリは一婦人なるも此處に惡むべく恐るべき大獨探ボロ、パシャは彼等仲間の首魁なる丈け從つて其の活動せし舞臺も廣く且つ其の害毒も多大なるが如しボロ、パシャも既に監禁され居れば彼をして其の實を吐かしむれば飛沫は如何なる邊迄に及ぶやも計られざるべし三箇月以前デユールナル新聞紙の所有者の一人なるレノアール及びドスーセの兩名逮捕せられてよりは

×事件も稍明白に なり來りたるものゝ如きも未だ如何程の程度迄明白になりしかは知れず佛國々民道德が斯く低劣なるものとは思はれざるも之れを單なる風說若くは傳ふるが如くドーデー等の帝政派が內亂を起さしめんが爲に捏造したるものにせよ戰時の佛國に取りては一大不祥事たるを免れざる也而してカイヨー氏が賣國奴事件連累を暴露するゝに至りしは本事件中の首魁ボローパシヤに對し何等の功勞なきに名譽騎士の勳章を附與したるに始まれり

●味は朝鮮向きの純日本料理
獻立は十五種

李王世子殿下は日本料理通にあらせらるゝ事は既報の如くなるが二十日の午餐會には父王殿下及び李王妃殿下も御招待相成り日本料理を試食に供さるゝ由にて之が

▲調進方を 命せられたる千代本の女將を訪へば『昨冬は昌德宮炎上の際 天皇陛下より御見舞として御下賜品賜りました節宮百人分を御調進申上げ這度再び李王世子殿下より父王殿下に參らする日本料理の調進方を御下命を給はりましたのは身に餘る光榮であります料理に就きましては

▲種々苦心 して居ります何分世子殿下より純日本料理で味は朝鮮向きにと仰せられたとの事でありますから、材料の吟味は申すに及ばず、砂糖で味をつける事も出來ず、さりとて鹽つぽく致しますれば御口に合はず唐辛子を用ひれば純日本式にはならぬと思ひまして昨日から料理人とも研究中であります、獻立は始め前附、吸物其他十三種程の

▲獻立表を 差出しましたが朝鮮では十三と言ふ數は不吉だと申しますので左の通り十五通りに改めました

▲向附● 芽甘草胡麻あへ、生貝酒煎 ● 酒ぼう鯛、土佐酢、▲吸物● このわた、なめたけ、木の芽 ▲刺身● 鯛目出造り ▲焚合● きんこう、……▲燒肴● 魚肉入込……▲茶碗蒸● 玉子むし、鶏肉、車海老、百合……▲替鉢 ▲小鉢物 ▲強肴 ▲酢肴 ▲煮物 ▲汁 ▲御飯……

右の中李王世子殿下の特に御注文あらせられましたのは茶碗蒸に鯛みぞれ煮と飯蒸のちりとか申されて

◆美術的に 見て美しく、喰べて美味くせよとの私共には仲々六ケ敷い御注文で御座いますから鯛の濱燒なども、御料理にしても御飾物にしても御目に……

別段六ケしい事では無い(2)
三月一日より實施の肺結核豫防法に就て
朝鮮には内地の割合以上の肺結核がある
鹽澤京畿道警務部長談

肺結核が漫性傳染病中最も恐るべきものである事は已に一般の人が知つて居るから今更事新しく述べる必要もないやうであるが此病氣は昔て肺癆又は勞瘵と云ひ朝鮮では漢方醫が之を勞瘵と云つて居る肺結核は往時は遺傳と稱し系統を追うて發病する者の樣に思はれ傳染病である事は知らなかつた

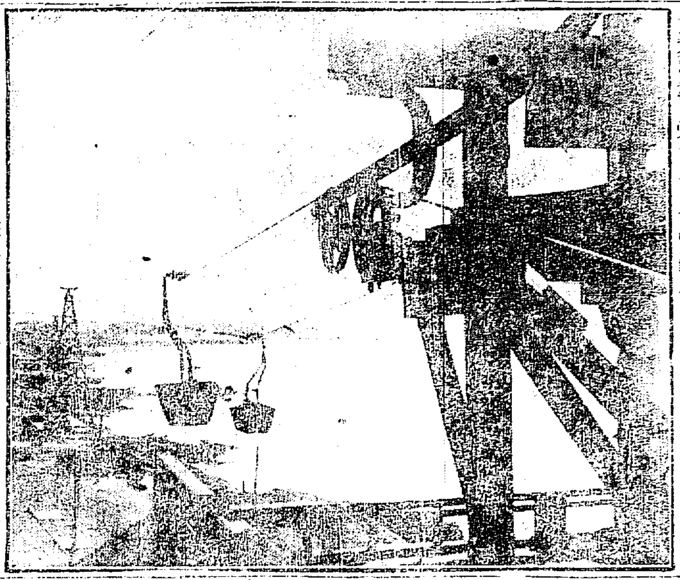
◆追々專門家が研究の結果傳染病である事が明かに證明せられ其病原物たる結核菌が發見せられたのが今を去る三十六年前の事である而して肺結核は洋の東西を問はず……

◆是は公の統計に表はれたる數字なれども肺結核の如きは多く醫師も患者も兎角其名を憚りて動もすれば之を隱蔽せんとする傾があるから他の類似病症の名の下に死亡せるものも此數字以外尚多數あるべしと思はれる即ち或る他の統計によれば肺結核に依る死亡者は全死亡數の十五『パーセント』の上に出て成年以上の死亡者のみにて云へば其三分の一は肺結核死亡者であると云ふ事である傳染病豫防令に依る

◆所謂法定傳染病は激烈なる急性傳染病であつて何人も之を恐れざるものなく全力を盡して其傳播防止に努めるけれども……

◆內地にて約四十萬人もあるであらうと云はれて居る朝鮮に於ては未だ斷然たる調査がないから確かなる統計は得難いけれども一般の衞生狀態より推して見ても蓋し內地の割合より以上肺結核があるであらうと思はれる此の如く多數人命を戕害するものであつてコレラよりもペストよりも恐るべきは肺結核である、肺結核の病原たる結核菌は主として患者の喀痰中に含まれ他の細菌に比すれば外界に對する抵抗力強くコレラ菌の如きは乾燥すれば忽ちに死滅すれども結核菌は乾燥しても容易に死滅せぬ故それが空氣中に飛散して……

◆多く肺結核の如き病人の保養に行く處であつて肺病患者の口が寢具の小濁の喀痰中に含まるゝ結核菌が衣類寢具に付着し室內器具等に飛散するからである第四條の病院の取締に關することも之と同樣の理由である



安全ケーブルカー

火藥爆發
一家六名重輕傷

慶北醴泉郡若木面隔里洞居住の鄭朝敵(四〇)は元土木業を營みゐたりし處その後生計意の如くならざるに至り或る人より僅かの資金を借り得て狩獵を營み居れるが去る十三日午後八時頃自宅にて藥莢の詰……

貨車粉碎
沙里院驛にて

十七日午前十時二十分頃京義線沙里院驛構內に於て操車中の連結手の合圖信號の誤りより機關車が急速に運轉したる爲め停車中なりし貨車に激しく衝突し件の貨車は粉碎せり損害約百五十圓なりし

●通水時間は何の位かゝる
斷水中に火災の起つた時分に

目下京城水道は給水量が不足の爲め夜間だけの通水停止をやつて居るが、恰かも火事季節であり、一朝火事の際には水道當局は通水を行ふことになつてゐるが、それが果して間に合ふかうかと云ふ點に疑問を……

◆通水が可能 ……

◆實地に調査 した結果總督府醫院の下では……

◆配水池から 遠いだけ……

小品展覽會

●文藝募集

●追善の爲め寄附

讀者文藝課題及募集規定

□募集規程

商況

仁川期米

仁川米豆取引所

大阪期米

連絡船上陸客

天氣
晴れ

馬蹄銀と鑄造元の銀房（下）

全く民間で任意に鑄造＝而も其れが政府の貨幣よりも信用がある＝併して通貨の主力となつて居る

馬蹄銀即ち銀錠は通貨ではあるが其の一個が何程といふ普通貨幣の有する價格の呼稱は無く其の價値は一つに其の重量に由つて定められて居て其の單位を兩と稱して居るから而も支那の度量衡制度は貨幣と同樣に頗る紊亂を極めて居るから同じ一兩と云つても處に由つて其の重量に差異のある事は止むを得ない次第である

▲同じ滿洲でも 牛莊の一兩は我九匁九〇九遼陽は九、七三九鳳凰城は九、七六八吉林は九、九六四寛城子は九、九二一といふ風に異つて居る上に銀錠を鑄造する地金の質に於ても處に由つて異るから其の計算は頗る複雜で到底甲地の銀錠を乙地に持つて來て通用するは

▲面倒に堪へられぬ 其處で甲地の商人が乙地の銀錠を受取ると之れを甲地で通用して居る銀錠の品位、重量と同一のものに改鑄する必要が起つて來る此の改鑄を營業とするものを銀房と稱して居る銀房は大抵永い間銀錠鑄造に從事して何れも相當の資産を有つて居つて

▲自己の鑄造した銀錠には其の銀の品質と重量とをそれがら自分の名を刻印して責任を負ふて居る、銀房は斯くの如く其の責任を明かにして信用の厚い上に營業用貴重品の保管をする爲めに完全の設備を爲て居る處から銀錠の鑄造を委託する者は其儘銀房に寄託するやうな

▲習慣に成つて 銀房ではこれを無手數料で保管して寄託者の請求する時に何時でも現銀を引渡す事に成つて居るから寄託者は銀房の預り證券を以て商業の取引を爲るやうになり或は單に銀房に其の行を通知し銀房の帳簿の上で甲から乙に保管の振替を爲さしめ

▲甲乙兩者の間 の債權債務の關係を決濟するの方法をも取つて居る而し近來は前述の如き古い慣習が漸次改廢せらるると共に實際に銀錠の數が著しく減少して今では市場に於て之れを見る事は極めて稀となり代つて大洋小洋の銀貨が多く流通する事になつたのは自然の幣制進化の度を示して居るものである（大連）

鮮人風俗變遷

平壤と謂はず何所の里でも朝鮮人は舊來早婚の惡風習があつて甚しきに至りては男女十二三歲にして遂に人の夫たり妻たるの狀態なりしが年と共に此の弊風が改善されて來た今年壤に於ける一昨年と昨年の比例を取つて見ると大正五年中に於ける結婚總數は三百三十三件にして其年齡別から見て最も多かつたのが二十歲未滿で二百三十八件に達し總數の約七割を占めしものが大正六年に於ては結婚總數六百七十二件にして內二十歲未滿の結婚數は二十六件即ち總數の一割一分餘に過ぎず勿論生活難より來る晚婚者あらんも僅かに一箇年に於て差引六割の減少を見たるは鮮人風俗の逐年改善されつゝある表徵とも云ふべし（平壤）

民署七植林 計畫

▼大規模の造林を行ふべし 大連民政署管內に於ける大正七年度に於ける植林計畫は柞、松の混合林を造成すべき目的を以て從來の松林に柞種を播種するの計畫を立て遠き將來に於ては到る處に柞松の混合密林を造成するの豫定なるが該造林の計畫は學理上最も進步したる理想的造林方法にして混合するを以て松毛虫を防止する其の利益とする處を擧ぐれば柞樹に便なり松は用材として柞は薪炭用として互伐半林保存の上に頗る便なり大正七年度に於ては小平島革鎭堡、噢水子、南關嶺方面の各地方苗圃に柞種四十石の播種並びに柞樹苗四十四萬本を植栽するの計畫なるが更に將來は大々的積極方針を以て進み大規模の造林を行ふべく計畫中なりと

新義黑鉛近況

新義州附近に於ける黑鉛狀況を聞くに義州郡月華面なる中田忠五郎所有の黑鉛鑛は面積六萬三千八百二十五坪にして半箇年平均採掘高六百圓なり同郡化合下洞所在谷口與四郎氏の所有鑛區面積は三萬二千四百十二坪半箇年採掘高一千七百五十圓同所三鑛區の面積二萬二千八百二十坪之れが採掘高半箇年一千二百五十圓同郡批峴面所在

慶北官規振肅

慶尙北道廳に於ては兼ねて官規の振肅を計り居れるが本年度よりは一層之を勵行し現に……知るも一分間の遲刻も之を……に記載し退廳に……別任務の外一切……萬一……に於て之が實行を斷行し……る斯くの如きはむしろ……に於ても希望する……て公平無私自己の……は管に悅ぶべき現象にして一般人民に於ても大なる期待を以て之が斷行を希望し居れり

谷口德松氏所有鑛區面積は一萬一千百九十坪半箇年採掘高五百圓同郡威遠面阿部繁雄氏所有鑛區は面積六萬三千九百二十三坪にして半箇年採掘高一千五百圓なり

穀物鑑定統一

朝鮮貿易の輸移出品に對する稅關の鑑定價格は是迄各稅關所在地に於ける前月の平均相場に見て翌月の鑑定價格を定め來れるが本年一月一日よりは輸移出有稅品の穀中大豆、小豆、小麥等の鑑定價格は鮮土各稅關を通じて統一する事となれるが右鑑定價格は前年半期間の平均相場より打算し度支部關稅課に於て發表すべく且つ其有效期間は三月より八月まで九月より十二月までの各半年なるが之れを現在の如く公表すべきか將又當業者のみに通告すべきかは未定なれど前年半季間の平均相場より打算せる結果は今日の鑑定價格に對比し同三品を通じ頗る低格となるべし尙ほ此鑑定價格統一の件は前記日本稅關出張所より商業會議所へ通牒を發せり

全州活氣漲る

久しき間寒氣鎖沈の傾きを呈し餘所の見る眼も如何にも睡眠狀態かの如く觀ぜられたる全州は此頃新春に入りて全く元氣を恢復し著しく活氣を顯し先進家期せずして重立つ市民六十餘名起つて全州の繁榮を策謀する會合頻々行はれ大なる委員を設けて或は中等教育或は市場問題或は水道或は何々と幾多重大懸案を一氣に解決せむとの結束を堅うせり一は將運の趨向を察し一は五州輕鐵布設見越しの騰調に刺戟せられたるに由るものであつて……喜ぶしき現象である

救世軍に救はれた 哀れな老夫婦

西大門內救世軍營內に引取られて薄命な餘生を送つてゐるもの中に二人とも八十幾歲になる老夫婦がある、此の老夫妻は元と相應の身分であつて家屋や地面も自分の物であつたし且つ一人娘の李召史（假の名）に婿を取て何不自由なく暮してゐた所が不圖した事から商業に手を出したのが破滅の素とかり家運の次第に傾きたる爲め不入情にも婿の某は娘を唆のかして逐電して了つたのみならず唯一の財產と賴んで居た飼場は病氣に罹り之れを賣る事すらも出來ず到頭山なす借金の爲めに土地や家屋は人の物となり果ては八十幾歲の老夫婦が宿るに家なく老の身の只だ死を待つ計りであつたのを幸に救世軍の手に救はれたのであると、是けその一例であるが京城の救世軍には未だ〳〵可愛想な薄命者が多數收容されてゐる、併し救世軍とても限りある豫算で無限の窮民を救護する事は出來ぬ、それ故食物と衣類と、薪炭との別なく何んな粗末な物でも惠んで呉れゝば喜んで好意を受けるそうだ因みに喜捨の希望者は西大門內の救世軍フレンチ大佐宛に申込れたしと

支那水害調査員

支那直隸水災事後策調査員たる朝鮮總督府技師南氏は朝鮮に於ける水害防禦設備視察の爲め客年より來鮮各道に亘りて調査研究中なるが去る十三日來鄕十四十五の兩日道廳其他を訪問し十六日全羅道に向ひ出發す

米國鰊輸入杜絕

乾大魚の對抗品として數年前より米國カリフォルニア產鰊の鮮輸へは年々増加の趨勢を示し目下に於ては鰊鮮總督府に於ても其の輸入防止策に就て各道に通牒を發せしこともありしも明太魚より鰊鮮人に於ては明太魚の代用品として嗜好をあらはし……

大連より

○滿鐵內部に大改革ありとの風說は昨秋以來頻りに傳へられ內外の人氣を動搖せしめたが其の流布は全く根據のない事ではなかつたよし又根據のない事でもない……

○卽ち朝鮮鐵道の委託經營の會社縮少、理事の權限擴張、總務研究所の設置、新課長の任命、同じく新理事の任命等組織に幾多の問題が連續的……

○其の結果は一大改革の近き來るべき事を豫想させるに充分であつたそれからあらぬか舊冬以來滿鐵內部上下を通じて一種何んとなく落付かぬものがあつた幹部及び重役諸社員は自己の地位の爲めに、下級社員は增俸の上にも增俸を望んで動搖して居つた

○年末に至り藤田兩理事の退任と一般改革の切迫したる事を暗示した舊臘過日來中村都督來連重役會議の結果は兩か風か續くかの會議を爲し會議の結果は兩か風か……と社員は元より滿鐵の御蔭を以て生息して居る大部分の在滿邦人は何れも他所事ならず氣を揉んで居つた

○突如――會社側から云へば勿論……

全州の上水道

……

新義造船近況

漸次盛況に赴く

警務部長巡視

新任大橋全南道警務部長は兩日光州監獄及び管內を巡視せり

高木氏滿鐵退社

滿鐵一等社員高木……

日報曆（一月下半期）

十五日 十六日 十七日 十八日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日

◇日の出入 十六日（日出）七時五九分（日入）五時三八分 卅一日（日出）七時五七分（日入）五時五五分

演藝案內

浪花館

明治町一丁目 電話二六〇番

大正館

櫻井町 電話八七三番

壽座

京城壽町 電話五七八番 一月十九日二十日（晝夜）

黃金館

電話二三六三七番 二三六六番

有樂館

稻荷座

本町五丁目 男女合同 浪花節 市川圓之助一座 身振芝居

花柳病外科專門 梅毒 淋病 606 京城南大門通農工銀行裏 司生堂醫院 電話三〇六番

曾我一郎商店

アナタの胃病にはマーゲン 木劑の特色

むつきの改良 二重式マルマおしめ

土地建物賣却 土地三百坪 煉瓦建住宅壹棟

耐火煉瓦 耐火物各種 合資會社 京谷商店

少女方の皮膚

株式會社第一銀行支店 資本金 積立金 諸預金 京城府本町二丁目

內科小兒科 外科 朝鮮病院 京城黃金町一丁目

優等清酒 廣島縣西條町 醸造元 木村靜彦 京城府鐘路 發賣元 河野酒店

カスミ網 京城永樂町二丁目 吉備商會

謹告 酷寒の候各位益々御清穆の段奉賀候陳れば最近諸原料暴騰の爲午未本年一月廿日より左の通り一部値段の改正を爲し原料精選一層勉强仕候間倍舊御愛顧の程奉希上候 敬白 京城蕎麥商組合

外科 皮膚科 瀨戶醫院 京城旭町二丁目 醫學士 瀨戶潔

左甚五郎

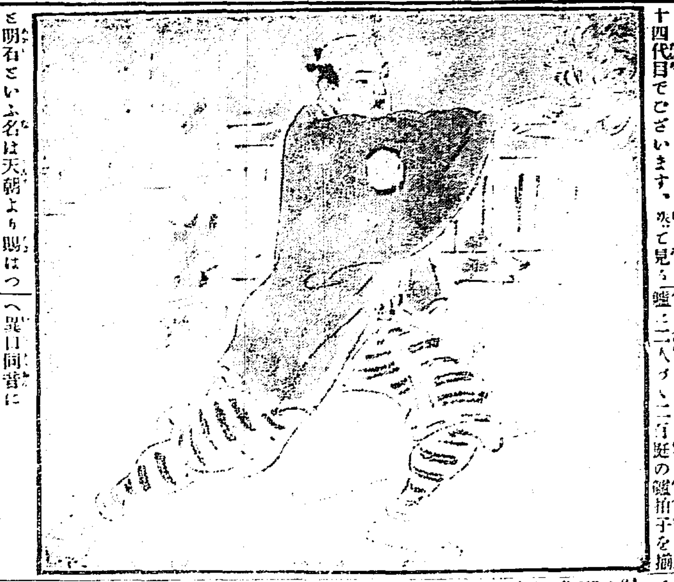
第百四十三席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

中村勘三郎作、發知の二人は扇を取つて舞つて居りました、處が新發知の服裝が如何にも異紅で揚巻の紐が長過ぎて垂れて居る、是を天覽あらせられて御簾の内にてアカシ〳〵と云ふ勅諚、夫れ日野大納言殿が新發知は今日より明石と改名をいたす樣、茲で中村明石となつて親子の者は御褒美を頂つて退出いたします、此の勘三郎に因て勘九郎といふ者がある、是を除き、次男の明石は妾腹でございます故跡を襲せて中村明石といたしました、只今の中村明石は十四代目でございます。扨て見ると明石といふ名は天朝より賜はつた名で大したものであります。其の勘三郎が酒井將監より音頭取りを定められました故、勘三郎が音頭を取つて水夫の者へ船唄を唄はせ船拍子を取ることを稽古いたしました。茲で一同の水夫は充分に會得をしました、愈々寛永十年の六月相州の三崎より安宅丸を品川へ曳て參りまして、將軍家光公御上覽といふので、天地丸といふ御船に召され乘り出す、それに續いて大龍丸といふ船に乘つて靈岸島より漕ぎ出した、供船に召された方々は艫の間詰、小姓組、番頭、大目附、目附、寺社奉行、町奉行、作事奉行、此時伊達中納言忠宗、池田新太郎光政品川まで御出迎をいたします。安宅丸へ御案内をいたしまする、家光公始め一統の方々本船へ乘込ました、安宅丸は總朱塗にて金銀の金物は光り輝き、船縁へ彫つた牝龍牡龍は昇天をするかと思はれるばかり、音頭役の中村勘三郎赤き羽織に赤き手拭五色の采配を執つて指圖をいたして居ります。家光公御覽になつて「天下一〳〵」とお賞め遊ばし、猩々緋の陣羽織金切襴の采配を執つて勘三郎へ給はりました、拜領致したる陣羽織を着し右の采配を振つて音頭を取る、其の聲の善いことは金鈴を振るやうでございます。是に續いて四百人の水夫淺黄に水の打つたる揃ひの法被を着し一挺の艪に二人ずゝ二百挺の艪拍子を揃へ異口同音に

芽出度〳〵の若松樣よ、枝も榮えて葉も茂る

其の美事なること言語に述べ難く、當日お供の面々には松平伊豆守信綱、阿部豐後守忠秋、井伊掃部頭直孝、土井大炊頭利勝、稻葉美濃守、酒井備後守、青山大藏大輔、松平右衛門太夫、板倉内膳正、高力攝津守、内藤伊賀守、久貝因幡守、井上河内守、水野監物、伊丹播磨守、小堀遠江守等其の他一人一役の方々居流れて居ります。何れも中村勘三郎の働きを感ぜぬ者はございません、安宅丸は品川沖の海上に泊る、家光公は御盃を擧げて一統へ御酒を下さる、中村勘三郎の舞が相濟むと御前に於て太郎光政自然居士を曲舞をして御覽に供へました、將軍家には御喜び、猶今回の光政侯をお賞めなされ、[illegible]安宅丸普請に就て一方ならず骨折りました甚五郎を召されて有難きお言葉を下し置かれ御褒美に預りました、甚五郎も此時には面目を施しました、[illegible]の日々[illegible]まで[illegible]に於て御酒宴を催されたるが、それより家光公は御機嫌よく御歸[illegible]となりました、諸侯方も[illegible]を開いて[illegible]、[illegible]安宅丸は其儘本所の御船藏へ入れ置かれまして一般の者へ拜見を許しました、見る人々は皆舌を卷て驚く位でございます、然るに此の安宅丸に就て一大波瀾を生ずるといふお話しは次席に……



一月廿一日九星 舊十二月九日戊辰 [illegible]

[illegible]

外科 一般 皮膚科
泌尿器科 花柳病科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院
電話四一九

質 京城太平通二丁目
本田質店
嚴密精々高價御預

皮膚科 外科專門 京城太平通一丁目
房田醫院
電話二五八番

◎金照喜氏 内地行
金照喜氏は炭礦鐵南浦貿業館其他鐵物皮朝鮮に關し東京大阪神戸其他の商業視察の爲め内地方に往復四十日間の豫定にて旅行する事となり十日午後七時十分南大門驛出發したり

てんかん
病で時々ヒキツケ困る方切手二錢送れば永年の持病も自宅でヒミツに治す事の出來る本を無代進呈す
名古屋市南小川町一 救生舘

M印 コムマリ
大阪府東區平野町四丁目 吉田商店

ヨクキク!
ひぜん水
大阪市西區新町通二丁目
本舗 田知本和三郎製
各藥店に販賣す 振替大阪二八八番

專賣特許婦人坐藥
子宮病血の道に良藥
ミツタンポン
大正婦人湯
定價 五十錢 壹圓 貳圓
子宮内膜炎 子宮出血 卵巢炎 帶下其他おりもの多き諸症を安全に治し得る子宮坐藥
大正婦人湯は[illegible]
本舖 東京日本橋區南傳馬町 大正製藥株式會社 振替東京三二三七三番
全國到る所の藥店にあり

日本及歐米十五ケ國專賣特許
胃腸最新藥
ヂスケチン
◉食慾が進まない時に食慾を促す
◉元氣が衰へた折に活力を與ふ
◉貧血のものには血液を補給す
◉榮養力の増進と體重の增加を促す
◉現今醫學大家は胃腸の諸疾患に本品を最も賞用せらる

自宅職業
日收一圓 特約店募集
二葉商會本店

淋病新藥 ツヨール
製造元 東京市日本橋 ツヨール商會
發賣元 大阪道修町 田邊五兵衛商店

小兒用 小學目藥
小兒用大學目藥は眼科の大醫が專ら十歲以下の小兒の爲めに周到なる注意の下に創製せられたるものにて子供の爲めに信頼すべき目藥であります
各藥店にあり
大阪 參天堂藥房 合資會社

學理上 實驗上
一番齒の爲に良いクラブ齒磨は
日本で初めて出來た科學的齒磨で
社會の信用最も厚きクラブ洗粉本店の工場監督技師と英人技師擔任の下に謹製せられ歯と口中の衛生上他に類のない有効な原料を用ひ防腐、消炎、殺菌の力に富める貴重な藥品を配合し普通の齒磨に比較すると五倍以上の効果がある上に使つた後で非常に爽快を感じますから陸海軍帝國大學、各醫學專門學校を始め醫學者間でも理想の齒磨として推奬されて居ります

拙儀郷里金澤に於て客臘來病臥中の處療養不相叶本月十七日死去致候間此段辱知諸君に謹告仕候
追て來る二十日郷里金澤本町自宅に於て葬儀相營み申候
大正七年一月十八日
平壤山手町 農工銀行舍宅
中西喜久男
親戚一同

京城日報

二十日朝刊（朝夕刊併せて八頁）

亞細亞振興の機運（二）
亞細亞民族覺醒の機

露國革命、露國崩潰の結果、直接其の影響を受くる最も大なるものは、聯合國なりと雖も、東邦諸國も亦た其の影響を免るゝ能はざるや勿論也。東邦諸國、就中日支兩國は、直接其の影響を免るゝ能はずと雖も、他の一面より觀察すれば、禍を轉して福と爲すの機會に在りと謂はざる可からず。亞細亞民族覺醒の機は亦茲に在りと謂はざる可からず。

大戰前の露國は、世界の大陸軍國として、中歐同盟國に對し、巴幹諸邦に對しての威壓者たりしが如く、東邦に對しても亦た支那の威壓者たりし也。然るに、露國革命の結果、露國は啻に自ら保全する能はざるのみならず、國內の秩序紊亂し、波羅的諸州と云ひ芬蘭と云ひ、小露と云ひ、西比利と云ひ、各州の各民族各將に分立せむとし、今や全く東西に對する威壓者たる位置を失墜したり。露國が將來に於て、果して統一せられて、世界強國の位置に復すべきや否や。將た獨逸的勢力の蠶食する所と爲りて、其の死命を獨逸に制せらるべきや否やは、固より世界の問題なりと雖も、若し露獨の單獨講和にして成立するが如きあらば、該國は政治的に經濟的に、獨逸的勢力に蠶食せらるゝの運命にして、獨逸的勢力東漸の機を與ふるものなるは、勿論也。左れど、獨逸如何に雄なりと雖も、國命を賭して歐洲大戰に從事しつゝある今日、東西同時に其の進取力を逞うする能はざる可し。獨逸東漸の將來は、我が亞細亞民族の警戒せざる可からざる所なりと雖も、獨逸が政治的と經濟的に、露國を蠶食し、露國をして獨逸化せしむるが如きは、非月の間に能くすべきにあらず。故に獨禍の憂ふべきは今日よりも寧ろ將來に在りと謂はざる可からず。

又た英佛の兩國は、東邦に對して密接なる利害を有する邦國なり……[illegible]

[illegible]……政治的經濟的……歐米列強が東邦に……我が亞細亞……民族、就中支那民族が……自ら其の新運命を開拓するに於て……亞細亞振興の大計……機會なることを信ぜずんばあらず。

客年朝鮮貿易（一）
重要貿易品と國別貿易

近年朝鮮の產業は長足の進步を遂げ農產、水產及び鑛產品等の產額著しく增加し殊に最近各種製造工業勃興の端を啓き製紙、紡績、製絲、セメント、燐寸、製鐵等

△新規事業の企畫 經營に著手せるもの相踵ぐの有樣なるに方り一面母國財界の近狀は歐洲戰亂以來著しく富力を增大せるのみならず工業上の發明と技術の進步に至りては更に大なるものあり加ふるに貿易販路の擴張、船舶……[illegible]

△大正元年に比し 五割八分……[illegible]

△輸移出四割八分 輸移入は一割八分、出入合計に於て四割二分の增進を告げ……[illegible]

△重要輸移出品の 增減……[illegible]

遊支偶錄
文明中毒國
蘇峰生

故中村敬宇翁は、「支那不可侮論」を、今より四十餘年前に公にしたり。故勝海舟翁は、屢ば吾人に向て、李鴻章の大政治家たる所以を語りて、吾人を驚かしめたり。彼等は或る意味に於ては、支那若しくは支那人を買被りたるやも、未だ知る可らず。されど支那の文明は、世界に誇る可き、文明の一にして、今日の支那人は、其の文明の代表者たる資格に於て、缺乏するや掩ふ可らざる也。尙ほ其の文明の製造者の後裔として……

……として、看過せざる可らず。若し支那人の缺點を指摘せん乎、其は蒙昧野蠻なるが爲めにあらずして、寧ろ餘りに文明なるにありと云はざるを得ず。固より日新の科學に於ては、支那文明の、歐米文明に及ばざるや論なきも、所謂る人文の關係に於ては、先秦の文明は、總ての文明に比較して、唯一の優位ならざる迄も、其の優位の一を占むるものと云ふも、過言にあらず。乃ち現時の支那人きへも、人に對し、世に處する智巧に於ては、世界の田舍漢たりし日本人の、及ぶ所にあらず。

支那人は、殆んど生れながらにして、蘇秦張儀の術數を遺傳し來れるものに似たり。小策乎、大策乎……

……は、姑らく措き、支那人の短所は、殆んど先天的の性格たるなり。此の如き支那人に向て、其の智術を逞うせんとするは、恐らくは彼を知り、己を知るものと云ふ可らざらむ。要するに支那人は、頗る文明中毒の人種也。支那は文明中毒國也。此の如き國柄、人柄に向て、唯だ日支親善の空言のみにて、其の歡心を繫がんとするは、愚の甚だしきものと云はざるを得ず。況んや他の嗜好、趣味、感情、思惑を無視して、一氣呵成に、我意を貫徹せんとするに於てをや。況んや鬼面を被りて小兒を嚇すが如き、淺薄なる小策を逞うするに於てをや。

在鄉軍人會の發展策（五）
官民の努力を望む
陸軍少將 高橋綏次郎

[illegible]

こうして
市瀬生譯　四十五

[illegible]

○十二歳で專賣特許を受く（幼年新聞）

[illegible]

米 十九日後場 大阪の上寄りを受けて當地先二十錢……[illegible]

發行所 京城日報社

婦人界

二月號
○新世帶失敗記
○家庭用食器しらべ
○會社員の暮し向
○婦人のくせ者
○子供の躾方
○子供の寢小便
○婦人に多い腎臟病
○家庭年中行事
○儉約の意味
○夫婦和合の秘訣
暖い日
小說 不如歸 實話
小說 野菊 嚴谷小波
長篇講談 押上鶴
發行所 東京

京城日報代理部

石版彩色刷 無代進呈
種苗代價表
東京 日本種苗株式會社

愈々社會に認められたる！
米國製正十四金ペン 特許創案
自働インキ含裝置「パインビジネス」ペン
平常使用のペン先に金製のもの使用……「パインビジネス」ペン……特殊創案の嵌入物によりて「インキ」を含ますれば宜く數頁の使用に耐ゆる先耐久力
發賣元 京城日報社代理部

日本研學協會編纂 中學校長推獎
最新刊 入學準備者のため
發行所 京城日報代理部

範模紹介
醫師 代診 藥劑師 藥局生 看護婦 招聘
會社 就職 捜交社

職業 上田總本店

京日案內
鑛物各種分析 松永分析所
富山縣
新築貸家 山田龜太郎
英國婦人 英語教授
外務員 大谷政一
大工道具一式 小林萬錄

香港の鐵鋼禁輸

香港政廳は鐵及び鋼鐵を日本に輸出することを絶對に禁止せり（香港電報）

湖北南北軍衝突

十六、十七の兩日二晝夜に亘り宜都にて宜昌軍との間に戰爭有り結局勝敗決せず爲めに沙市より軍隊出動北軍も之が援助の爲め進發す目下猶戰鬪繼續中にて十七日午後日清汽船會社の汽船が下航途中の如き彈丸飛來して危險なりしと云ふ（上海特電）

湖北民黨員銃殺

漢口に於ける民黨が蔡天才一派に對し石星川等と連絡し知事を追ひ監獄を破壞する等の暴擧ありしに對し湖北民黨二十名は水上警察の手にて逮捕銃殺されし督軍王占元氏も兵を出し警戒中なり（北京特電）

日本語正科新設

蔡元培氏が總長たりし時北京大學法科に日本語の隨意科を設けしが爾來良好なる成績を見るに至りし結果今回日本語を正科とし同大學内文科理科法科等に日本語の正科を設けたり學生約八百名あり（北京特電）

根據なき反對騷

新協約に依る吉長鐵道滿鐵經理の内容に就き長春及び吉林の士民反對騷ぎを爲し居るに關し吉林當局及び吉長鐵道當事者は其の反對運動が何等の根據無く只無賴の徒の盲動なりとして重きを爲さず現に北京に請願委員を發したる如く傳ふるも實際は何等其の形跡無し（長春特電）

羅國王捕縛命令

露都來電　過激派政府委員は羅馬尼國王を捕縛して露都に送る可しと命じたり（倫敦電報）

東露へ外交委員

過激派政府外交委員數名は西伯利及び沿黑龍江州、東清鐵道、哈爾賓等に派遣さる（倫敦電報）

米石炭缺乏防止

米國にては石炭の缺乏を防止する爲め燃料官ガーフィルド氏は食糧製造工場を除き米國の全製造工場に對し五日間の閉鎖を命じ尚今後十週間に亙り毎週月曜日に閉鎖を命ずべしと發表せり（華盛頓特電）

渡米禁　相　實際上旅行困難

米國大使館よりの發表に依れば米國國務省は今回戰時政策として在外代表者に訓令を發し孰れの國に駐在する領事館も大公使館も華盛頓政府の許可あるに非ずんば旅行券に裏書す可からざる事を命ぜり即ち旅行券の裏書は停止されたるに非ざるも一一本國政府の許可を受くる事となれる爲め實際上旅行は困難となりたるものなり（東京特電）

阪谷男内諾　支那財政顧問

阪谷芳郎男は支那財政顧問官就任を内諾せりと（東京電報）

鮮銀總裁日程　滿洲に於ける

朝鮮銀行は過般正金銀行金券及び中央事務引繼ぎと共に新たに四出張所を開設し滿洲との關係愈密接となりたる爲め美濃部總裁は二十二日京城發奉滿の豫定なり日程は二十三日奉天通過旅順及び大連方面にて開店の挨拶及び招待を爲し二十八日來奉二十九日奉天總領事館及び張督軍を訪問し同夜日本側官民有志を招待し越ゑて三十日支那側官民を招き直ちに京城に引き返し更らに東上の豫定なりと因に總裁は今回滿洲各地を巡遊の豫定なりしも東京に於ける[illegible]目眉の間に迫りたる[illegible]止せりと（奉天特電）

大相撲手捌

▲中入後 ▲大蔵山と天ツ城[illegible]に[illegible]は大門右差に[illegible]ろを柏體を預け下手投を打つ▲常ノ花に[illegible]▲逆鉾に[illegible]は休[illegible]土俵際に[illegible]

▲栃木山に千葉崎　千葉が大銀を取り居る事とて滿場一層の興味を唆りて歡呼喝采の[illegible]つて立ち上る[illegible]は前まつて栃木の勝は大喝采▲達ノ矢に風は突き合ひ達の押進むを[illegible]四時二十五分打出[illegible]

六年の朝鮮事業界（上）

朝鮮に本社を有する會社の新設と增資

朝鮮銀行調査局調査

大正六年の朝鮮事業界は内地事業界未曾有の盛況を呈したる餘波を受け且鮮内事業勃興の期運に際會したる爲空前の新事業並に既設事業の增資を現出したるが今朝鮮銀行調査局の調査によるに大正六年一月一日より十二月末迄に至る間朝鮮に本店を有する新設會社は卅三社其公稱資本金一千四百五十七萬五千圓拂込金四百八十一萬七千五百圓を示せり今其會社名並に資本金拂込額業別を擧ぐれば左の如し

會社名	資本金	拂込	業別
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

乃ち其の業別は農業二社、工業九社、瓦斯電氣四社、商業十四社、銀行一社、運輸二社、倉庫一社にして工業組織に商業組織のもの最も多く慶南の六社之れに亞ぎ京畿道の八社、京畿道は各四社、成南全南は各二社、慶北平北は各一社なり更に之れを各種事業に分類し其の本社所在地を擧ぐれば[illegible]を見るべく而して其の組織別を擧ぐれば株式會社十九社合資會社十社合名會社四社となり又其の本社所在[illegible]に資本を現ぐれば左の如し

更に六年中に於ける增資は二十五社其の拂込六百六十八萬四千七百五十圓の巨額に達し其の種類別を擧ぐれば左の如し

種別	社數	增資拂込
農業	一	五〇、〇〇〇
林業	一	五二〇、〇〇〇
工業	四	五〇三、七五〇
瓦斯電氣	四	二〇三、七五〇
商業	六	一、六一〇、〇〇〇
中央銀行	一	四〇〇、〇〇〇
普通銀行	四	五〇〇、〇〇〇
運輸	三	七六二、五〇〇
倉庫	一	五〇〇、〇〇〇
合計	二五	六、六八四、七五〇

結局大正六年中朝鮮に本社を有する新設會社の拂込資本金並に拂込み增資額の合計は一千百五十萬二千二百五十圓に達せる譯也

官有財産管理規則改正

十九日勅令第十三號を以て朝鮮官有財産管理規則中改正の件を公布し即日施行されたるが右は同規則第五條第五號の次に左の二項を加[illegible]

朝鮮窮民の救濟に就て

山縣生

朝鮮窮民の救濟につきて本紙の記者が彼等の爲めに上げたる哀求の聲が、世の仁人義人の聽く所となり、少なからぬ義捐金が彼等の爲めに寄與されつゝあるは感謝に堪へぬ次第である。聞く所によれば今日の日曜日の集りに、京城の各基督教會に於ては窮民の爲めに喜捨金を募る筈であるといふ。願はくば多くの人が、嚢底を叩いて喜捨せんことを。憐れなる人の爲めに與ふる金はつまり天國の銀行に預けると同じで、情は他の爲めならず、必ず大なる利子がついて我身に返り來るのである。

昨日記者は救濟の任に當れる一外國婦人宣教師から一寸の哀れな話を聞て胸の塞がる感があつた。此婦人は戸別訪問をして窮民を救濟しつゝあるのであるが二三日前の或貧家を見舞ふたところ、其の小さき室の隅に襤褸の如きいぶせき塊が蠢いて居るのを見た。あれは何かと、其家に住へる貧しき女に問ふと、自分の孩兒であるといふ。何日生んだのかと問ふと、二日前との答へである。外國婦人が抱き上げて見たところが、骨と皮ばかりに瘠せこけて居るが、形が大きくて二日前に生れたものとは思へぬ。そこで其通りをいふと女は唖然として、二日前に生んだと自分は思つて居るが、何日であつたかよくは覺ゑて居ぬといふ。

外國婦人は近隣の人について聞ひ質して、實は一月程前に生れた孩兒であることが知れた。貧女は寒さと飢餓との爲めに精神上に異狀を生じ、時の觀念が亂れてしまつたのである。如何に哀れなる話ならずや。此の教師は世界の司令官フレンチ大佐の任地シカゴに於て窮民救濟の事に當つたことがあるが、今京城に於て見るが如き慘狀はまだ見たことがないと言つて居る。四溫が暫く續くが、今日あたりから又三寒が來そうである。暖爐に倚附いて居てさへ寒い今日此頃、火の氣もなく食物もない哀れな人の事を思ふと堪らなくなる。助けてやりたいではないか。

上半期輸入金銀

本年一月上半期朝鮮に於ける金銀出入額は輸移出金銀及び金地金十七萬一千九百八十五圓、銀及び銀地金[illegible]の減少金銀貨移入額は金貨及び金地金一萬八千二百四圓、銀及び銀地金十萬九千五百九十五圓[illegible]七千三百九十九圓[illegible]十二萬[illegible]

運賃引下

四社協定の理由

松崎朝郵營業課長談

釜山より阪神行き鮮航運賃を朝郵、尼ケ崎、立光、四社協定の上十九日より百石二十圓に引下げた事は既報の如くであるが右に付松崎朝鮮郵船營業課長は曰く今回協定の上尼ケ崎立光商會は百石百五十圓より百二十圓に引下げたるが其の理由は（一）朝鮮米の出廻り内地移出が損ねて居る事が多くの停滯なきに至れる釜山（二）鉄道の運賃引下の交通難緩和なると商より[illegible]

▲社外船が最近三四回釜山から阪神へ運賃で釜山から阪神へ入港し低廉な運賃を積んだと云ふ事實もあるので幾分それに對抗すると云ふ意味もないではない、從つて海運界が不況に陷つたから運賃を引下げたと云ふ譯合に非ず、又西北鮮の仁川商社は舊元山方面は未だ何等運賃引下の協定はしてゐない、前にして下げるか下げぬかも今日の所不明である、尚は今回の引下げが[illegible]

▲新運賃輸送を安價に運輸した商だらうとの噂を聞てゐる釜山商會の釜山運輸は百石百四十七圓で朝郵より若干安値にあつた、立光商會が四社協定して運賃を引下げた結果それに對應する事はあるかも知れぬが立川商會が[illegible]會に運賃引下げを促されたと云ふ事はない

記念植樹狀況

客年春季植栽せし京畿道第七回記念植樹狀況を聞くに樹種はアカマツ、クロマツ、クヌギ、クリ其他二十餘種にして植栽數百五十一萬七千百三本なるが其後約二割の枯損を見たりと

救濟事業企畫

米國人宣教師アンダウト氏長男故老元漢城氏は十八日夜京城駐在米國副領事、宣教師並に牧師團、[illegible]セウアブレンス病院長、[illegible]私立延禧大學校長阿部本社長等二十餘名を南大門外の自宅に招待して晩餐會を催したり席上漢城氏は『京城には是迄社會救濟事業の何等見るべきものなし此の際何んとか企てたいものである』と發表あり一同の贊成を得て會の成立を圖ることゝし[illegible]

京畿私學狀況

京畿道管内に於ける鮮人教育私立學校の狀況を聞くに現在學校數一般に關するもの七十三、宗教に關するもの四十六計百十九校にして本年中廢止を見るべき學校は一般に關するもの十九校、宗教に關するもの十八、合計三十七校なりと

[illegible]委員長とし内鮮外人より各三名宛の委員を選任することゝして散會せり

李堈公御招宴

朝鮮ホテルで

李堈公殿下には十九日午後六時半より李王世子殿下を朝鮮ホテルに御招待晩餐會を催されたるが長谷川總督、山縣政務總監、松川軍司令官、宇佐美[illegible]長及び同事務官長等四十五名陪席せり

北島博士巡遊

北島多一博士は今回内務省の命を帶し内務技師氏原佐藏氏を随へ支那出張の途次十九日夜南大門驛を通過せるが氏は奉天に一泊直ちに北京に向け南行の筈なり因に氏今回の出張は支那山西省其他に於けるペスト視察の爲めなり

人事消息

▲小[illegible]氏（朝鮮銀行安東支店長）二十四日東京より[illegible]京城着[illegible]

▲北島多一博士氏原技師一行　二十日午前十時半南大門通過北行の筈なり（安東縣特電）

▲阿部元松氏鈴木商會重役　十九日京城着[illegible]

閻魔面鏡

▲クレマンソー翁は七十六歲の高齡で佛國内閣を預り長となつた▲或人が幾度内閣を潰したかと聞くと翁微笑を浮べ『自分でも頓と記憶しない位だ』と云つた相な▲巴里では夕翁に擬へるもの綽名を付けて居るが第一にはオヴアスローワー、オブ、ミニストリー（内閣顛覆者）と云ひ次にはタイガー第三にキングメーカー（國王を作る人）▲第四にはペートレル、オブ、フレンチ、ポリチツクス（佛國政界の荒れ海燕）▲此の外にまだレッド、インデアンとかヤンキー、スクールマスターなどの綽名もある相な▲尤もヤンキーは翁が米國で永く教師をして居たからだと云ふ▲米國ホボーケン市の上流婦人連は特志女巡査を志願し制服凜々しく巡邏して居る▲其の任務は少女の墮落を防止する爲で土地が兵營所在地になつて以來兵士と少女との關係が盛に行はれるので兵士と同行せる怪しい少女を悉く引つ立て親の許に屆ける▲こわい小母さんのお役目だとは面白い

[illegible]穏なるものゝ如し同地に於ける物交通の機關不通なれば中央政府の命を受けて組織立ちたる活動を爲す[illegible]艦を迎へ日に何度となく軍艦の周[illegible]碎氷船を以て碎氷し廻れりと[illegible]なる事は或は無からんと語れりと[illegible]の事にてブルークリン號は同地へ[illegible]

氏は本月十二日鳳凰城に來り縣知[illegible]事公署にて刑事告知の檢閱を行ひ[illegible]に來り其れより更に管内各縣を巡[illegible]在り尚ほ右檢察官は十六日安東縣[illegible]

朝鮮總督府裁判所通譯生　之山井麟治氏二大著書

在鮮人士の必備缺くべからざる二大珍書

普通文官試驗提要　新刊

判任文官試驗に應ず　第二版（四版）　第七版　定價七拾錢　送料六錢

鮮文鮮語　法律上　悉く網羅唯一

朝鮮古書熟字俗字　朝鮮慣習風俗志　定價五拾五錢　送料六錢

京城大平通三〇〇番　一手販賣所　京城日報社代理部

社員招聘

營業係目[illegible]

方支那代理店及直屬外務員

京城府水下町六十五番地　日本豊盛株式會社鮮滿支社　電話一三〇番　振替京城四四一番

主婦之友　二月號

不良少女の感化法　中學生を持つ親へ　女學生を持つ親へ　早教育を施す方法　惡癖をつけぬ教育法　低能兒の教育法　如何にせば優良兒が出來るか　子寶の欲しき家庭への注意　子供の體質とお伽噺　若き主婦の心得　家庭でする伽噺の苦心　剛情な子の癖を治す　八人の男子を育つ　赤坊を丈夫に育てた經驗　チフテリーの看病法

東京家政研究會　岡本綺堂

最新刊　大阪屋號

醇良清酒

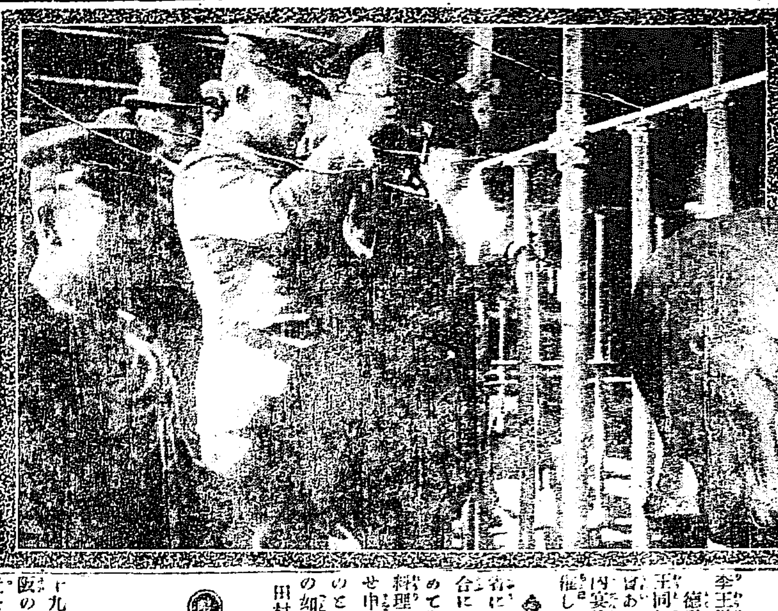
大阪府堺市　釀造發賣元　兜塚源次郎

特約販賣店　京城本町一丁目　佐藤牧太郎　電話長二九番

寄ひせ倒して三杉の勝▲駒泉に栢戸はバッタリ互ひに左上手を引いて息を圖る内鶴吊らんとするとこ[illegible]喰ひ下つて寄るを上手投で對馬の勝▲宮城山に大鳴門 上突張りを連發して攻めつくるを宮城渕いて二本差となるや無二無三に寄切る[illegible]を左りに廻りて懸命に怺ふるを振つに飽くまでも押進むと見せて千葉のウンとフン張るところを右手を持つてグイと突き落せば美事に極

●[illegible]方面至極平穩

浦鹽其の後の形勢に關して某方面に達したる情報に依れば案外に靜[illegible]なつてゐるが又[illegible]の手が如何なる方面に延びつゝありやは知り難く此點最も警戒すべき事なる可く該地と中央政府及び各地との通信[illegible]ざる狀態にあり殊に帝國軍艦派遣せられてより過激派は格別好意を表せざるも有産階級は歡喜して[illegible]可く現在に於ては至極平穩なりと因に英國軍艦サフヲーク（九千八百噸）も既に著港し居れり又米提督ナイト大將も浦鹽の形勢重大と[illegible]



昌慶苑の河馬を撮影せらるゝ李王世子殿下　寫眞機を持たるゝが殿下（中）尹徳榮子爵（右）金武官（左）

▲餘興に謡曲會　王世子は極めて謡曲に御堪能

茶菓の御饗應を受けられて午後四時自動車にて徳壽宮に御歸還相成りたるが、此日殿下には非常に御愉快の模様にて常に微笑を湛へられ御歸還に際しても『愉快であつた』と隨員に仰せられしと。

李王世子殿下の御勸めにより二十一日徳壽宮石造殿に於て李太王、李王同妃殿下の日本料理御試食午餐會ある可き由は既報しむ當日右御午餐終了後餘興として謡曲會の御催しある由元來王世子には東京に於て折々宮内省に催さるゝ能樂及び謡曲の御會合に臨まるゝ事あり別けて謡曲は殊に御堪能にて特に純日本料理の御饗應の外謡曲をも御聽きせ申し度しとの御希望に出でしものと承はれるが當日の番組は左の如し

田村（總督府）末松熊彦　金松田　深作
羽衣（女官）[illegible]　松田　深作
鞍馬（御用掛）武田　向　金松田　[illegible]

●偶々京城に　右の松田耕作氏は元仁川水道事務所長、金深雪女史は東京に在りし婦人にして祭祀課長事務官[illegible]氏の夫人なり又た山田檢校氏は東京松風會の師範役にて[illegible]來りしを機會に今回特に御召あり配して右の地謡は山田氏及び[illegible]事務官、小山典醫之を勤む[illegible]といふ猶ほ前記番組には[illegible]除き太鼓及び小鼓大鼓の三[illegible]入れ前記の如く太鼓は松田氏[illegible]鼓は金夫人勤むべき由なり

櫻宮炎上

▲御神體は御無事　三菱製煉所の煙突の火が燃付いた爲め

十九日午後一時四十分頃石谷なる大阪の櫻宮屋上より出火神殿に延燒せる天照皇大神、仁徳天皇、八幡宮の三御神體は社務所に奉遷したるが神殿は全部燒失二時十五分鎭火せり原因は三菱製煉所の煙突の火の粉風の爲め同社の屋上に燃付きたるなり（大阪特電）

元署長妻子を殺して自殺

福島縣二本松町元警察署長山崎久治は精神に異狀を來し十九日妻子を殺したる上自殺せり（大阪特電）

島の山火事

成歡面永興郡鎭坪面豬島居住の李寛衆は一月十二日午後三時頃島内の松林にて柴刈中煙草の吸殼を落したるものより大事に及び民有松樹四反餘歩を全燒して同日午後四時頃鎭火せり損害約四十圓

直通列車と注意

近來直通列車の乘客中其の多數が通過驛なる爲停車せざるより運轉中飛降りを爲すもの往々ありこれ最も危險なるを以て當事者に於ては之が防止方に充分注意すべきも乘客に於ても豫め乘車の際この點に留意し斯かる行爲なき樣心掛けらるべしと

窮民に醵金

京城鍾路通大昌貿易株式會社社長白潤洙氏は是迄公共團體慈善事業等に醵金すること度々なりしが昨今の寒氣に凍死する窮民を救恤せんと十九日金百圓を本社に持參し之が分配方を依頼する所あれば本社にては直ちに鍾路青年會の手を經て配付の手續きをなせり

●評判の河馬を御撮影

王世子殿下昌慶苑御觀覽
＝その昔御乘用の朝鮮馬の前に歩を留められ＝動物園から植物本館へ＝
『今日は却々愉快であつた』

李王世子殿下には十九日午後二時より秘苑昌慶苑を御觀覽相成りたり、秘苑より動物園に成らせられし殿下は末松掌苑課長、下郡山植物園主任の御案内にて先づ三號館より御觀覽相成りたるが、折しも人氣者の猩々が牛乳を

■喇叭飲みにして、御愛嬌を御目にかけしより殿下もいと興がらせ給ひ、歩を留めて『面白き奴よ』と仰せられし、三號館にはブタオ猿、手長猿、狐猿など惡戯者多き事とてもしや殿下に失禮ありてはと網を張り置きしが、さる事もなく

■饒舌の鸚鵡は高貴の方の前をも憚からず、末松課長、尹侍從、栗子爵、金御附武官其他隨行の人々が『お父さん』『今日は』など言へば喧しく『お父さん』『今日は』など眞似するにぞ、殿下は御失笑遊ばされたり、第一號館にては東京動物園にもなき

■評判の河馬を御覽あり　たるが、係員が手を差出せば臼のやうなる口を開くを珍らしがり給ひ、隨員を呼ばれて、兼て御用意の寫眞機を取出させ、御手づからピントを合して撮影せられたる上、昨年十月出産せし仔河馬と親河馬が池の中に

■戯れ遊ぶを御覽せられ『これは面白し』と仰せられて又も撮影せられたりそれより下りて殿下が嘗て御幼少の折御乘用相成りし朝鮮馬の前に歩を留め給へば貴族の人々『殿下はお立派に御成育遊ばされしが、馬は依然として少さし』など諧謔して呵々大笑すれば

■殿下も共に　微笑まれたり動物園の御觀覽を了られし殿下には末松課長の説明にて博物館を一巡し植物園に入られたるがアスパラフ、ケンチヤ、コーモリランなど處狹きまでに茂る温室内にて水野植物園主任の説明を聽かれ更らに

■植物本館に　於て御休憩中も水野主任に對し椰子の樹齡及び熱帶植物の栽培法など御質問あ

●漢江に遊ぶ高女生徒

十九日朝から高等女學校生徒は全部教師に引率されて漢江の氷上で氷滑りなどして賑かに練つた

線路に觸る

十八日午後[illegible]京城電氣株式會社の南大門行電車が南大門内[illegible]停留場附近を進行中太平通二丁目李孝敬の俥（二六）が線路を横切らんとして救助網に觸れ左手の食指を骨折し共愛堂醫院にて應急手當を加へたり

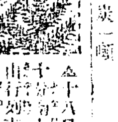
●小火

十九日午後三時四十分頃[illegible]の煙突より發火し屋根を燒き拔きたるが[illegible]消止めたり

●窮民救助

[illegible]

▲白米[illegible]　▲衣類數點[illegible]　▲石炭一噸[illegible]



▲十八日午後[illegible]南大門驛の[illegible]見送りの[illegible]一所に改札口を出やうとした▲すると改札係は右[illegible]年の[illegible]を買つて出[illegible]入場券を買つて出[illegible]いと求めた[illegible]は不思議さうな[illegible]

[illegible]にもこれは龍山驛まで[illegible]付で如何にも[illegible]の乘[illegible]然し僕は見送るべき人が一緒に乘るので乘り込んだのに如何にも三等乘客ではとつて龍山までの見送りを止めたんであるが矢張り乘車券を買ふのかと仕譯には驛長室まで一寸と入つて[illegible]と云ふので一錢安いのでもあるまい[illegible]の見送人が何んでも毎日十人[illegible]の乘車[illegible]を[illegible]ある時近べた[illegible]

▲俳句の[illegible]島に寄き座あらむ[illegible]だと▲俳句の所に去る五日新年宴會の或る宴席に一所に作つた俳句だと話し[illegible]亭の操が其の[illegible]ち或る宴席で某枠士に示す▲曰く『酒の香や春始めての雪の窓』又曰く『春の夜を酒零したる初若かな』▲枠士は是を見てナ[illegible]程聞の句などはナツテ居る[illegible]一寸見込があり[illegible]つて▲即座に雅號を[illegible]けて遣つたコレは『操』を『水枠』に[illegible]もじつたのである[illegible]する許は句佛上人に[illegible]人に[illegible]いふのが居るからださうだ

春場所大相撲

九日目　十九日午後十時著東京特電

勝	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	矢筈山	御西山	八甲山	大[illegible]	[illegible]	[illegible]	常[illegible]川	源氏山	廣砂石	九州山	大錦	中	三杉磯	[illegible]戸	錦[illegible]	[illegible]花	對馬洋	宮城山	栃木山	鳳
	寄倒し	押切り	寄切り	寄倒し	寄倒し	寄倒し	寄倒し	押出し	吊出し	寄切り	突き放し	押しみ	吊込み	押切り	休み	持ち出し	入	寄せ倒し	下手投	休み	押切り	上手投	寄切り	突落し	捻り
負	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	鶴柳	鬼鹿毛	朝[illegible]	友綱	岩[illegible]	大木	金[illegible]	宇都宮	兩國	紅葉川	伊勢濱	倭	大門岩	駒泉	[illegible]	錦[illegible]	[illegible]高山	大鳴門	千年崎	蓬ノ矢

▲玉ノ川に鶴渡　例の通り喰ひ下り頭捻り起して右四ツ寄つて寄らんとするを得意の頭捻り[illegible]▲若常陸に藤ノ川は突き合つて二本差し土俵際に腰を落して倒す▲[illegible]に矢筈山は右四ツ寄つて矢筈山の勝▲御西山に鬼鹿毛は二本差し無二無三に寄進む[illegible]▲八甲山に朝[illegible]の首投げを打たんとする[illegible]大ノ里[illegible]▲若木に[illegible]若の勝▲大ノ里に[illegible]押せば[illegible]▲一ノ濱に[illegible]左四ツ▲金龍に[illegible]ケ嶽[illegible]▲宇都宮に潮川は突張り[illegible]▲源氏山に[illegible]

▲兩國に廣砂石は[illegible]ひきたる右を苦て一氣に押切り廣砂石の勝▲九州山に紅葉川は休み▲大錦に伊勢濱　清く仕切つて立ち上るやバッタリ左四ツ伊勢下手に褌を引いて喰ひ下らんとするを錦腰を捻つてこれを切るや錦右手に伊勢の差手を卷き込み引に持ち出して勝

▲十日目取組（中入後手捌き欄外に在り）

（三杉磯）大ノ里　（大門岩）[illegible]　（八甲山）[illegible]　（鶴渡ヶ）[illegible]　（鬼鹿毛）駒泉　（逆鉾）[illegible]　（千年崎）兩國　（紅葉川）栃木山　大鳳　大錦

△中入後

（金剛）[illegible]　（御西山）東　（大ノ里）若木　（鶴渡）潮川　（大鳴門）宮城山　（源氏山）[illegible]　（伊勢濱）對馬洋

△休場力士　九州山は面疔の爲め明は足を痛めしため何れも休場を申し出でたり

春場所星取表

（表中○勝●負×分▲預）

東方	
九日目	[illegible]

西方	
九日目	[illegible]

勝負星　八十九　八十九
勝負星　七十三　七十〇

●囚徒廿九名を釋放す

蒲洲洛陽地方審判廳檢察官孫武祥では[illegible]を加へたる囚徒廿九名を釋放せる由なるが其の理由は流石は支那式にて經費不足の爲め囚徒を減員して之が節減を計ると云ふに是れに依りて地方良民の受くる害一は層甚しきものあるに至る可しと一般に懼れ居れり（安東）

謹告

階寒の候益々御清穆の段奉賀候陳れば近來諸原料暴騰の爲め不得止來る一月廿日より左の通り一層値段の改正を爲し原料精選一層勉強仕候間倍舊御愛顧の程奉希上候　敬白

▲かけそば　金六錢　▲ざるそば　金十錢　▲[illegible]　▲[illegible]　▲花まき　金七錢　▲月見　金[illegible]　▲[illegible]

京城蕎麥商組合

和洋金物商　○壁紙○ストーブ[illegible]　佐藤李次郎商店

眼科專門　金井眼科醫院

攝津灘　大塚釀造所吟製　發賣元　前田酒店　京城本町二丁目　電話一三七番

凍らぬ水とも云ふべき　飛行機印粉劑消火器は　美麗なる圓形にして萬物悉く凍結せる中に能く消火の効果を全ふし得るもの　一個代金二圓也　送料金一個ニツキ廿四錢　冬季には是非必要なり　京城本町　熊平支店

純良の藥品と賣藥が揃つて居ます　クラブ化粧品代理店ですから御値がお安いです　京城本町二丁目　古城贊化堂　電話一〇二番　振替七三七番

優等清酒　發賣元　本莊酒店　黄金町四丁目十九番地（若草町四ツ角）　電話六五四番　振替京城六〇二番

内外科　小兒科　花柳病　高井醫院　京城本町二丁目（電車通り）　診察自午前九時至午後九時　日曜祭日正午迄　電話二二六番　院長　醫學士　高井正貞　副院長　千葉醫學士　松崎正治

村儀鄕里金澤市に於て客臘來病臥中の處療養不相叶本月十七日死去致候間此段知己諸君に謹告仕候　追て來る二十日金澤市木町八十八番地自宅に於て佛式相營み申候　大正七年一月十八日　平壤山手町農工銀行舍宅　中西喜久男　親戚一同

にせ物と好商　大阪有田　クラブ商會　南大門外

百貨　帝國醫科大學[illegible]　京城南大門外停車場通

根炭　枝炭　大塚商店

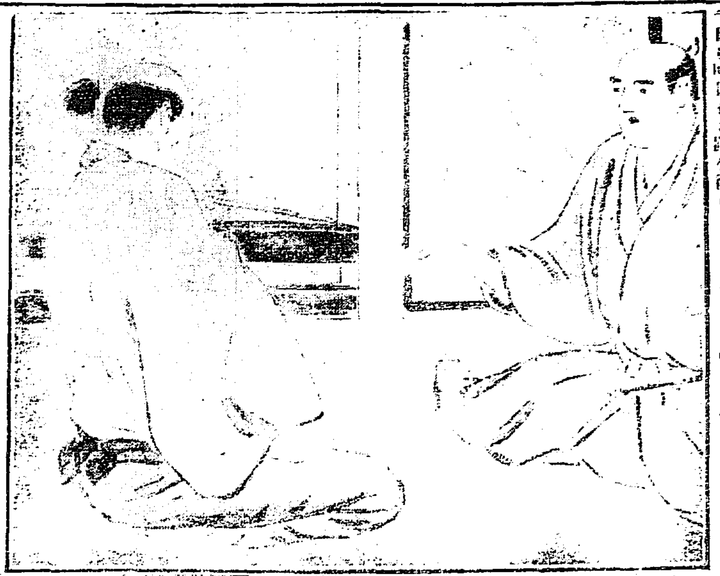
アダリン　高峰博士發見の高貴藥アドリナリンを主藥とす　東京室町　三共製藥株式會社　總代理店　香月商店

櫻御殿

第百廿六回　大阪殿の家主人

二人士（四）

此の旅士は助左衛門であつた。初瀬を廣島の西、廿日市村に尋ねた歸りから、家へも戻らず旅へ出た。武士の意地、草を分けても、初瀬を探し出して、只一刀に斬つて捨てねば、一身の面目立ち難ねるやうに感じて、山陽道を大阪へ出た。共に伴れた八助は、あまり歸りが後れるので、姫路から國へ返して、今は眞の一人旅である。行く〳〵初瀬の消息を調べながら、今日も明日もと路を行く



恰度その日は天滿天神へ參詣して、鳥居前の茶店に休んで居ると、隣の床几に腰かけて、ぐびり〳〵と濁り酒を飮んで居た士が『旅のお方、一盃如何でござるな』と持ち合せて居た盃をさし出した

助左衛門は廣島を出發てから、一度も盃を手にしなかつたが、所謂惡魔が魅したのであらう、不圖飮みたい氣になつて『さらばお相手を致さうか』と手に受けた、二人の間はその一盃から解けて、四方八方の談が擴み、武邊英雄の品評に移る

あまり談話が面白いので、助左衛門は段々興に乘る、する中に、強く醉が廻つて來て、とろりと横になつたかと思ふと、生體も無く寢入つて、不圖目を開くと、見知らぬ仲間部屋に横はつて居た、何時の間に寢られたのか、兩刀もな

い、起きやうとするに腰が立たね、呼ばうとするに聲が出ない、正しく痺藥であつた、不用心にも痺藥を服まされた、武士にあるまじき不覺、からしやう〳〵と氣が焦る處へ、先刻の酒の相手が[illegible]來て、親切に介抱へた、さうして助左衛門の氣の鎭まるのを待つて[illegible]見捨てはならず、當家へお伴れ申[illegible]はしたが、[illegible]心のあつた譯ではない、その點は御安心め[illegible]うぞ、[illegible]開けた[illegible]する中に、[illegible]

い、酒の醉も醒める、その仲間部屋から芥川民部の屋敷である事も判明す

る

『いろ〳〵御雜作をかけた、まきてを急ぐで、此のまゝお暇致すでござらう』と云つたが相手の武士は承知しなかつた

『一應主人へお逢ひ下されたい、それで無くてはお腰の物をお渡し申す理に參らぬ』と云ふ

天滿の茶店で懇意になつたばかり、逢ぞ會つた事もない武士が、何の爲めに大小を奪ひ、何の爲めに斯うした處へ伴れて來て、加之に、主人へ會へなどと云ふか、助左衛門は怪しからず思つたが、それを荒立てゐるのも大人氣無く思ふので、云ふがまゝに主の前へ出たのである

助左衛門は髯顏が近頃頻つて浪人を集め居る故由を知らなかつた

[illegible]民部は[illegible]打ち解けてか、え。夫だけ助左衛門は氣味が惡い[illegible]『不躾なことをお訊ね申すが、貴殿御出生は何れでござる』民部は重ねて云つた、助左衛門は『尾州でござる』と答へる『すると、殿下の御同藩』[illegible]は聞雨ともせず[illegible]懐しく存じ申す

[illegible]の寢物語に聞いた山賊の住家へ伴れられた不幸な人の運命が、自分の上へ落ちて來たのではないかと心細くも思へた

然も主は品の好い武士であつた

助左衛門が丸腰で居るのを見て『これお腰の物を參らせぬか、失禮をしては濟まぬではないか』と[illegible]つた

名刺
京城 太平堂
電話二七一二
振替京城三三七番

新式設備の飛行機研究所

室内の氣壓を低落して飛行機の機關を試驗す

◆米國政府は時局の必要に應ずる爲め多數飛行機製造の急く可き大計畫を立て着々之を進行せしめて居るが其に就き一方に於て飛行機に關する學理及び其製造法研究の爲め惜氣なく資金を投じて各所に嶄新の設備ある研究所を設置し學者技術家に多大の便宜を與へて居る

◆其一例として當る可きは度量局所屬の地所に新設された飛行機研究所内に飛行機の機關を試驗する目的のヴアキウアムチエンバー即ち眞空室と名附くる物が建造された事である

◆是は厚さ十二吋のコンクリートで壁を以て圍繞された高さ六呎幅六呎半長さ十五呎の室で其内の氣壓を隨意に低落し得る裝置が備はる故にて得らる最低氣壓は海拔二萬呎以上の高所に於ける氣壓に等しい故に此室内に於て飛行機の機關が種々の高さの空中で種々の速度を以て運轉する場合如何なる狀態にあり如何なる影響を受くるか等を簡便に試驗し得る猶ほ室には機關の廢氣を他に除去する設備及び實地飛行の場合機關より放散する熱を酌減する裝置がある又この室の傍には機關に依つて使用さる空氣の分計器氣壓等を計る數多の機械が備はつてゐる

京城本町
千代田號印舖
電話一九七八番
振替一八七七番

無病長壽を希ふ人は
熱して津村兄弟商會の
人參エキスを
知らぬ人なく人參エキスに
親しむ方は健全也
東京日本橋 津村兄弟商會

書畫用 桃色紙
京城 呉服商店 たよや出張
電話一九六

酒香吟社詠草

彼岸

避雷針が空に彼岸哉
夫婦風呂り居る彼岸哉
境内に浮浪も盛る彼岸哉
彼岸會の鐘が鳴るなり寺
若二人詣るも往く彼岸哉
接待の小豆粥焚く彼岸哉
無縁塚に咽ぶ彼岸微風哉
谷々を彩る彼岸櫻かな
童顏の帽も詣る彼岸かな
雌を呼ぶ一聲彼岸哉
戀の如き翁も彼岸かな
老者の遊戲を祀る彼岸哉
善男の鐘撞す居る彼岸哉
寺町に灯せる彼岸かな

新年雜詠

硝子戸に湯氣一杯初湯哉
初風呂に課選しき初湯哉
新花に湯氣立ち昇る初湯哉
湯女美し艶居る初湯哉
七草の香走る朝の厨かな
七草の薺紅や雪の中
遠近に七草噺す夜明け哉
七草賣る聲も春の町

冬の夕空　高須賀

[illegible]

寫眞
京城日報社寫眞製版部
寫眞出張撮影
寫眞銅版亞鉛版
迅速と可成低廉なる價格を以て懇切に御用命に應ず

大阪株式特電

日本郵船	前場	三三七.八〇
川崎汽船		三三〇.〇〇
大阪商船		一七四.二〇

大阪期米

△十九日後場
▲當限寄付二十四圓二十八錢
より三十五錢と跳ね三節先八十三錢より六錢と上向き三節大阪の小前より先八十九錢より九十錢と逞しく見せたる

仁川米豆取引所

十九日の三月限
寄付二十四圓八十一錢

高貴御用の美膚料
美しいお肌を粧る
クレームレート

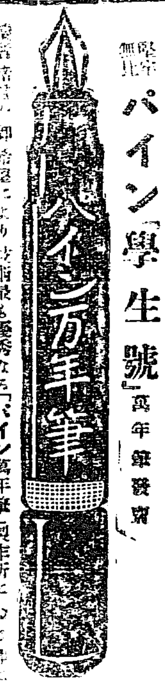
現今無數のクリームの中で何故レート許りが一番評判よく一番愛用されるのでせう？　それは言ふ迄もなく㊀分子が非常に細かいから使ふと直ぐにお肌にしつくりとけ合ひ㊁動物性脂肪を微塵も含まず㊂他品の如き惡臭なく芳香馥郁㊃ネバ〳〵した不快な粘り氣がなくお肌を非常に爽快にするからで、工場備付けの精巧無比の煉磨器械と職工の熟練は本舖の誇りとする處、クレームレートが男女の地肌を美しく調へる基本美容料としてのみならず洋化粧の化粧下として出の上にレート粉白粉をお調合になれば最も理想的な美しい化粧が出來ますので西も知るの一品を覓ふて御愛用になるのであります

東京　平尾贊平

登錄商標
直治水
一瓶で
偉効顯る!!
コレ迄の目藥で治らなき患者は試みよ!!
三大特長
㊀長所高評…
㊁服用…
㊂…
主効
ロトラホーム…
ロはやり目…
ロかすみ目…
其他眼病…
本舖　大阪　東京　[illegible]藥房

▲廣告▼
質
大口　歡迎
南米倉町一丁目長谷町
電話一二九一六番
田村質店
商品擔保便利取扱

流經新藥レスノリン
月經
[illegible]
本舖　大阪[illegible]　[illegible]藥房



堅牢無比
パイン「學生號」萬年筆
萬年筆發賣
定價壹圓八十錢
現時萬年筆界の御希望により技術最も優秀なる「パイン萬年筆」製作所に命じ製作せしめたる學生號は無用の装飾を除き實用を專一としたるものにて、總ての粧飾を除き實用を專一としたるもので外見は少しも遊びなく…
▲同じくペン[illegible]エボナイト製で此の耐久力高價の萬年筆に少しも劣らず
定價壹圓八十錢
京城大和町一丁目
振替京城三〇〇番
京城日報社代理部

國際自動車著發時刻
金泉驛
[illegible]
漆原自動車金泉支部

日本郵船出帆
大阪行　一月二十一日
[illegible]

尼崎汽船仁川出帆
神戸・大阪行
[illegible]

釜山出帆廣告
門司、神戸、大阪行
[illegible]

北陸同汽船川出帆
天同丸　一月二十日
[illegible]
仁川代理店 野口商會
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船出帆
第二商運丸　一月　日
元山より北鮮各地經由雄基行
京城丸　一月十九日
顯城丸　一月二十二日
元山發
平壤丸　一月十七日　釜山發
大阪行（釜山門司經由）
京畿丸　一月二十四日　元山發
成鏡丸　一月二十一日　元山發
忠清丸　一月　日
元山より羅津經由釜山濟州行
慶尚丸　一月二十日　釜山發
江陵丸　毎日　釜山發
濟州島行
晉平丸　一月十七日　釜山發
濟州島行
東洋丸　一月十九日　木浦發
西湖丸　一月十八日
釜山・巨濟・統營丸　毎日　釜山發
木浦・群山行
天丸　一月十七日　木浦發
睦陽丸　一月十八日
鎮南浦行
慶興丸　一月二十三日　木浦發
仁川木浦行
晉州丸　一月十八日
金剛丸　一月二十二日　仁川發
仁川鎮南浦行
宗信丸　一月　日　仁川發
全州丸　一月
南陽丸　一月二十一日　休航　仁川發
新義州行
江原丸　一月十八日　仁川發
清津行（大阪神戸門司より）
鏡平丸　一月　日　元山發
本社　京城 電話一九五二・三番
仁川支店 電話五〇番
元山支店
釜山出張所

大阪商船株式會社
汽船出帆廣告
仁川出帆
神戸大阪行
大邱丸　一月二十六日　午後時出
安東丸　一月十八日
木浦・群山・釜山・門司・神戸・大阪行
安東丸　一月二十一日　後二時出
大連行
安東丸　一月　日　午前出
湖南・鳥致院・仁川・大阪行
[illegible]
大阪商船株式會社仁川支店